

# 川上ダム通信

2012  
10  
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 大規模地震に備えて

水資源機構では、地震発生時における防災業務の円滑かつ適切な遂行に資するとともに、職員等の地震に関する防災意識・対応能力の向上を図ることを目的として、毎年9月1日の「防災の日」にあわせて、機構内の各事務所が一齐に参加し地震防災訓練を実施しています。

今回は、東海・東南海・南海連動の地震が発生したという想定のもとに9月4日（火）、初動態勢の確立、情報の収集・伝達を中心とした訓練を実施しました。

訓練では、建設所付近において震度6弱を観測し、この大きな揺れにより庁舎が損壊し停電に陥ったとの想定で、防災本部の設営および発動発電機によるOA機器への電力供給を実地で行いました。

現在、当建設所では付替県道青山美杉線道路の建設を行っていますが、その道路の完成に支障を与えないためにも、地震への早急な対応は重要となります。

また、東日本大震災が起きて間もないこともあり、惨状をテレビで見て知識を得ていたり、実際に復旧業務に携わった職員も在籍しており、本番さながらの意義ある地震防災訓練となりました。

【工務課 猿楽義信】



被災情報の確認を行う防災本部の様子

## 技術研究発表会開催



会場の風景

水資源機構では、日常業務の様々なテーマについて、担当者が課題や対応策等を発表することにより、職員の技術力向上を図るとともに、一般・関係者の方々にも水資源機構の業務内容について理解を深めていただくことを目的に、「技術研究発表会」を開催しています。

この技術研究発表会は今年で46回を数え、関東、中部、関西、四国、九州ブロックの5箇所で行われ、各ブロックの優秀賞数題が11月に水資源機構本社で開催される発表会において発表される

こととなります。

関西ブロックでは、9月20日（木）・21日（金）に建設交流館（大阪市）において発表会が開催され、関西管内の7事務所から30論文の発表がありました。当建設所からは「オオサンショウウオ道の効果検証」（環境課）、「的確な高水流量観測で250m<sup>3</sup>/sの河道流下能力を確認」（調査設計課）、「川上ダム付替県道唯一のトンネル完成」（工事課）、「不安定化懸念斜面における道路設計上の工夫」（工務課）の4つの論文を発表しました。

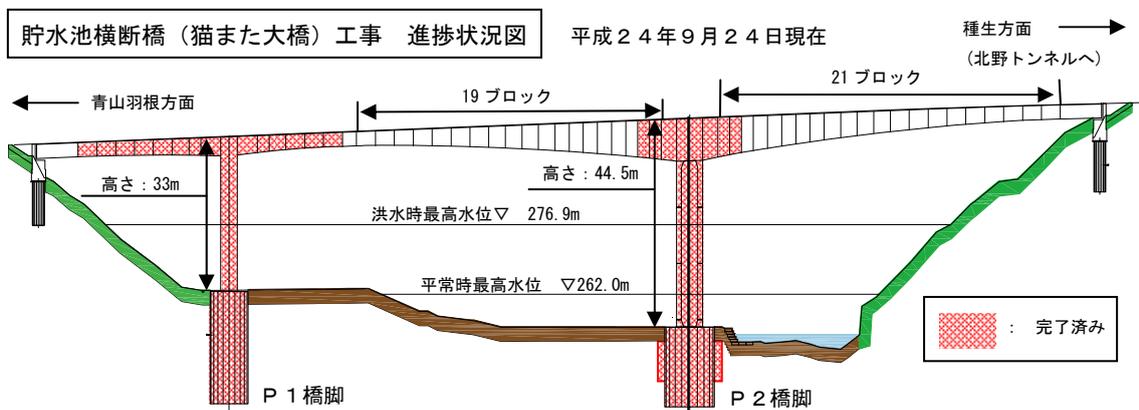
残念ながらこれらはいずれも優秀賞には選ばれませんでした。参加していただいた関係自治体や利水者の皆様に、川上ダムの取り組みを知っていただく良い機会となりました。

【調査設計課 大谷知樹】

# 工事進捗状況

## 付替県道青美線貯水池横断橋工事

P2橋脚は、ワーゲンの組み立て作業を完了し、張出し施工を本格的に開始しました。P2橋脚は、P1橋脚に比べて張り出す延長が長く、P1橋脚側、北野トンネル側にそれぞれ約20ブロックに分けて施工を行います。現在、2ブロックまでの施工を完了しています。



### 実習生受け入れ！

このような中、9月3日（月）から9月7日（金）までの5日間、松江工業高等専門学校4年生の小畑さんが実習生として川上ダム建設所に来所され、貯水池横断橋工事にて実習を行いました。

職員に同行し、現場においてコンクリート打設前の型枠の検査や打設時のコンクリートの品質の確認等の監督業務を経験してもらった他、比奈知ダム（名張市）を見学し、ダムの管理についても勉強してもらいました。

### 実習生にインタビュー

#### Q 実習を終えた感想は？

もっと専門的なことや現場のことの勉強が必要だと感じました。また、自分の考えを言葉にして伝える力も鍛えたいと思います。

#### Q 印象に残った実習内容とその理由は？

どれも興味深い実習ばかりでしたが、横断橋の現場見学が一番印象的でした。理由としては、初めて見る橋梁工事であることと、授業での予備知識のおかげで理解が深まる場であったこと等があります。



橋梁工事（上写真★箇所）にて実習中の小畑さん

付替県道青美線第2工区（その4）工事及び付替県道青美線貯水池横断橋上流部整備工事は、引き続き掘削作業を実施しています。

【工事課 溝尾邦男・廣瀬早苗】

# 地域の方に現場を見ていただきました！

8月25日（土）に、おこち小川内地区を対象とした現場見学会を開催し、13名の方々に北野トンネル（平成24年5月概成）及び猫また大橋（付替県道青山美杉線貯水池横断橋工事）を約1時間かけて見学していただきました。

猫また大橋では、現場の都合により橋の近くまで行けなかったため、遠方から完成後の橋の姿を想像していただきましたが、北野トンネルでは、その構造等を肌で実感するべく、照明が設



猫また大橋の全景を望みながら説明に聞きいる参加者

置されていない暗いトンネルの内部を、懐中電灯を片手に歩いていただきました。工事概要等の説明時には、「橋梁のコンクリート打設はどのように行うのか？」等、参加者から多くの質問を受け、付替県道工事に対する関心の高さを改めて感じました。

今後も地元の皆様方のご意見等をいただきながら、事業実施に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【第二用地課 松高遵】



北野トンネルの内部を見学

## ＃6 環境用語集

### エルニーニョ現象

環境用語集第6回目は、**エルニーニョ現象**について説明します。

エルニーニョ現象は、「東部太平洋赤道域で2～7年おきに海面水温が平年より1～2℃、ときには2～5℃も高くなり、半年から1年半程度続く現象※」です。

気象庁では「エルニーニョ監視海域の月平均海面水温の基準値（その年の前年までの30年間の各月の平均値）との差の5か月移動平均値が6か月以上連続して+0.5℃以上になった場合※」をエルニーニョ現象と定義しています。

エルニーニョとは、スペイン語で「イエス・キリスト、男の子」を意味します。この言葉は、エルニーニョ現象が発生する時期がちょうどクリスマス頃であることから、スペイン語でイエス・キリストを指す（と同時に「男の子」

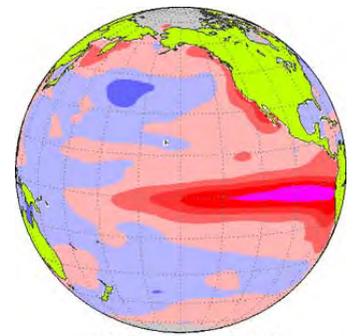
を意味する）「エルニーニョ」と、地元漁業民の間で呼ばれるようになったと言われています。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象（エルニーニョの女性形、女の子）と呼ばれます。

気象庁HPによれば、「エルニーニョ現象が発生すると、太平洋全域の海水温分布が変化し、これが地球全体の気圧配置に影響を及ぼし、世界各地でさまざまな異常気象を引き起こす傾向があります。日本ではエルニーニョ現象の発生時に冷夏や暖冬になりやすく、また夏と冬に多雨となる傾向がみられます。※」

気象庁は8月10日（金）、エルニーニョ現象に関する定期報告において、エルニーニョ現象が発生したとみられること、またこの現象が冬まで持続する可能性が高いことを発表しました。※箇所「気象庁HP引用」

この冬は暖冬になるのではないのでしょうか？気になるところです。

【環境課 笹原智弘】



1997年11月の月平均海面水温平年偏差※（エルニーニョ現象発生時）  
（平年偏差：気温の平年値との差）

# あ お は ね 阿保・羽根・川上の歴史探訪

## 第2回 しょうぐんもり しょうこうぐうしんめいしゃ 將軍森に鎮座する照皇宮神明社

伊賀市羽根の木津川と前深瀬川が合流する付近には、民家が密集していますが、その中央に將軍森というところがあります。またの名を天照皇森ともいわれ、伊勢神宮の御神体が一時祀られていたという伝承の地です。現在は照皇宮神明社として、地元の人からは「しょうごさん」と呼ばれ、立派な鳥居や神明社の石碑が建っています。

伊勢神宮の御神体は「八咫鏡」ですが、「天叢雲劍」と「八尺瓊勾玉」とともに三種の神器といわれています。古来、日本の天皇は、皇祖天照大神から伝えられたこの三種の神器を保持することによって、天皇の地位の証としてきました。

第11代垂仁天皇（息速別命の父君）の時代まで神器は、大和の笠縫村で祀られていましたが、垂仁天皇は神威を汚す恐れがあるということで、勾玉だけを残し、皇女の倭姫命にどこか適当な場所を探してお移し申し上げよと命じられました。そこで倭姫命は、鏡と劍を奉持して、大和から伊賀、近江、美濃など各地を転々とされ、最後に伊勢の五十鈴川のほとりを鎮祭の地とされました。

『倭姫命世記』という古書には、その時、名張の市守の宮に2年、神戸の穴穂の宮に4年、柘植の都美恵の宮に2年、それぞれ祀られていたと書かれています。その間、羽根にも一時立ち寄られ、その場所が將軍森だったといわれていますが、倭姫命の弟である息速別命がその近くに住んでおられたのですから、こんな話があるのも無理がないと思われます。

現在、照皇宮神明社の周囲は住宅地になっていますが、昔はうっそうとした巨木が生い茂る森だったといわれ、過去に地元の方から聞いた話では將軍森の跡地には、大きな神木がそびえていた証拠と思われる株がたくさん残っていたようです。

【松本仁志】



伊勢神宮ゆかりの照皇宮神明社（桜の季節）



神明社の石灯籠（高さ約3m）

## イベントのお知らせ

### ふれあいフェスタ in 青山

青山ハーモニー・フォレストにてふれあいフェスタ in 青山が開催されます。川上ダム建設所もブースを出展しますので、是非お立ち寄り下さい。

開催日：10月27日（土）

開催時間：10：00～15：00

開催場所：青山ハーモニー・フォレスト

お問い合わせ：ふれあいフェスタ実行委員会事務局

阿保地区住民自治協議会

TEL：0595-52-5210

## 編集後記

日暮れも少しずつ早くなり、秋の気配を感じます。この季節は「読書の秋」、「スポーツの秋」とよく言いますが、やはり「食欲の秋」を満喫したいですね。



ISO14001: 2004

JQA-EM5769

### 【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）

デスク 大友（総務課長） 田中（工務課長）

記者 湯本（総務課） 松高（第二用地課）

本田（調査設計課） 笹原（環境課）

廣瀬（工事課）

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。

宛先 〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地 独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

メール somu1@lily.ocn.ne.jp